

「96時間」

☆☆☆

2009（平成21）年7月15日鑑賞<角川映画試写室>

監督：ピエール・モレル  
製作・脚本：リュック・ベッソン  
ブライアン（政府の元秘密工作員）／リアム・ニーソン  
レノア（ブライアンの別れた妻）／ファムケ・ヤンセン  
キム（ブライアンの娘、17歳）／マギー・グレイス  
サム／リーランド・オーサー  
ケイシー／ジョン・グライス  
バーニー／デヴィッド・ウォーショフスキー  
アマンダ（キムの親友）／ケイティ・キャシディ  
シーラ（人気女性歌手）／ホリー・ヴァランス  
2008年・フランス、アメリカ映画・93分  
配給／20世紀フォックス映画

<リュック・ベッソンがまた！しかしこれは一発勝負？>

前日に観たリュック・ベッソン製作・脚本の『トランスポーター3 アンリミテッド』（08年）に続いて、リュック・ベッソン製作・脚本の本作を鑑賞。リアム・ニーソン演ずる本作の主人公ブライアンは政府の元工作員で、類まれなる格闘能力をもった男だから、『トランスポーター』シリーズでジェイソン・ステイサムが演ずる主人公フランクとよく似た設定。しかし2人が全く違うのは、『トランスポーター』のフランクはプロとして運び屋の仕事をやり、それに伴うトラブル処理のために格闘能力を発揮しカーアクションをみせるのだが、本作のブライアンは可愛い娘を96時間以内に救出するためのみにその能力を発揮すること。

したがって、『トランスポーター』は設定さえ変えれば、『007』シリーズや『アルティメット』シリーズのようにいくらでもシリーズ化が可能だが、可愛い17歳の娘が誘拐されるのは一生に1度だけだからそのシリーズ化はムリ。したがって、同じリュック・ベッソン製作・脚本だが、本作はあくまで一発勝負？

<パリ旅行がそんなに心配？>

本作は冒頭に登場するブライアンの愛娘キム（マギー・グレイス）の17歳の誕生日パーティーのシークエンスと、キムが親友のアマンダ（ケイティ・キャシディ）と共にパリ旅行に行きたいとブライアンに同意を求めるシークエンスの中で、元工作員だったブライアンが妻レノア（ファムケ・ヤンセン）と別れた理由やレノアが今大富豪の男と結婚し幸せに過ごしている姿が見えてくる。

しかし今ドキ、17歳の娘が友人と一緒にパリ旅行に行くことに危険性を感じ、行くのはダメだという父親はいないのでは？そんなに心配するブライアンは、あまりにも過保護？そう思いながら私は序章部をみていたが、パリに到着した途端、ちょっとセクシーなイケメン男から「タクシーと一緒に乗ろう」「今夜のパーティーに来ないか？」と誘われ、アマンダがホイホイとそれに乗っている姿を見ると、ちょっとヤバそう。しかも女2人だけの滞在先までアマンダはベラベラしゃべっているから、こりゃひょっとして・・・？

ブライアンと固く約束したケータイ電話に、遅ればせながら出たキムだったが、その時キムの目の前に見えた情景は？

<ICレコーダーが大活躍！>

私は毎日中国語会話をiPodだけでなくICレコーダーにも録音し、まめに聞いているが、ICレコーダーは弁護士の仕事にも、個人的な趣味にも使える便利なもの。それはブライアンも同じらしい。パリ到着のその日にアルバニア系の人身売買組織に襲われたアマンダの様子を、バスルームで通話しながら見ていたキムに対して、ブライアンはすぐにベッドの下に隠れるように指示すると共に、通話をICレコーダーで録音。そして犯人の特徴をキムに伝えさせ、絶叫の中でキムを捕えた一味のボスに対して、「必ず娘を救い出す」と通告。

それに対する相手の反応は「グッドラック」の一言だけだったが、ICレコーダーによるこれらの通話録音が犯人捜しのヒントになったのは当然。もっとも、私の目にはここでブライアンが父親としての思いのたけをぶちまけていることには多少違和感が。だってプロの工作員なら、自分のしゃべりは最小限にし、できるだけ相手にしゃべらせなくっちゃ。したがって映画としては、「娘を助けるためなら、エッフェル塔でも壊してみせる」という別のシーンでの宣言とあわせて父親の気持が十分伝わるシーンだが、これでは工作員としてはまだ二流？

<怒濤の追跡は？>

本作は93分と短い、娘を思う父親の愛情と「俺は長年培った特殊なスキルを持っている。もし今すぐ娘を解放しないなら、俺はおまえを追いかけて探し出す・・・そして殺す」と犯人に警告していたとおりの、知力、体力、格闘能力を見せつけながらの怒濤の追跡劇は盛りだくさんで迫力がある。1952年生まれのリアム・ニーソンの出演作で私が最も印象に残っているのは『K-19』（02年）。ハリソン・フォード演ずるロシアの原子力潜水艦K-19のボストリコフ艦長に献身的に仕えるミハイル・ポレーニン副長役が印象的だった（『シネマルーム2』97頁参照）。彼はたかさんの作品に出ているが、決してアクション俳優ではないから、本作での変身ぶりにビックリ。

本作のタイトルは、あの凶悪な一味に若い女性が誘拐された場合96時間以内に救出しなければ救出の可能性はなくなるという意味。アメリカからパリへ飛び、ICレコーダーに残る音声だけを頼りに、ブライアンはどうやってキムを捜し出し救出するの？父親の愛があれば可能？元工作員としての技能があれば可能？いや、そのどちらかだけでは到底ムリ。その両者が完全にミックスされ、常識では考えられないパワーになった時、はじめてキムの救出が可能になるのでは？

さあ、リアム・ニーソンが魅せるそんな一世一代のアクションと怒濤の救出劇は、あなた自身の目で。